



平成 27 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 チャー チェンロン  
(コード：9318 東証第 2 部)  
問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎  
(TEL. 03-5561-6040)

**(訂正および変更)「第 9 回新株予約権の資金用途の変更に関するお知らせ」の一部訂正  
および第 9 回新株予約権の資金用途の変更に関するお知らせ**

平成 27 年 5 月 27 日付適時開示資料「第 9 回新株予約権の資金用途の変更に関するお知らせ」において、一部訂正すべき箇所がございましたので、下記の通り訂正いたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、当社が平成 24 年 2 月 24 日に発行した第 9 回新株予約権の資金用途に関し変更を行うことを、すでに充当済みの分について、改めて決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

## 1. 平成 27 年 5 月 27 日付適時開示資料「第 9 回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」の訂正について

### (1) 訂正の理由

当社は、平成 27 年 5 月 27 日付適時開示資料「Mabuhay Holdings Corporation の株式の取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」および「第 9 回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」にてお知らせしましたように、Mabuhay Holdings Corporation（以下、「MHC」といいます。）の株式を取得するにあたって、第 9 回新株予約権（以下、「新株予約権」といいます。）の行使による調達資金に関する資金使途「国内投融資資金」の未充当金額 212 百万円を「海外投資資金」（未充当金額 288 百万円）に振り替える旨の変更を行い、変更後の「海外投資資金」未充当金額総額 500 百万円を当該株式取得資金の一部に充当することとしておりました。

しかしながら、その後の確認の結果、「事業運転資金」の充当済金額が当初開示していた 370 百万円を 54 百万円上回る 424 百万円であり、「国内投融資資金」の未充当金額 212 百万円から 54 百万円を振り替えていたため、実際の「国内投融資資金」の未充当金額は 158 百万円でありました。その結果、MHC 株式の取得に充当していた金額は、158 万円と 288 百万円の合計 446 百万円でありました。

このような状況が生じた理由は、当社において、増資により調達した資金（以下、「増資資金」といいます。）を分別して管理する社内体制が明確に規定されておらず、増資資金を管理する担当部門・担当者が不在であったことによるものであります。

具体的には、経理部門は、増資資金の充当状況をその使途別に把握・管理する体制になっておりませんでした。また、開示担当部門は、開示にあたって、増資資金の充当状況を把握するために経理データの参照を行っていたものの、経理部門との間で十分な協議・確認を行っていなかったため、充当状況に関する認識が誤っておりました。その結果として、誤った充当状況を開示することとなった次第であります。

今後は、増資資金管理担当者を明確に規定するとともに、月次で投資委員会を開催し、経理部門、開示担当部門、投資担当部門等の関係者による協議を行い、増資資金の充当状況・充当予定に関する正確な情報を共有し、増資資金の管理を徹底してまいります。また、増資資金の口座を分別して管理すること等の対応を検討するとともに、チェック機能を強化すべく、必要に応じて第三者の意見を仰ぐことで人為的ミスの再発の防止に努め、このような状況が生じない体制を構築してまいります。

つきましては、資金充当の実態に即して、上記適時開示資料「第 9 回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」における資金使途「事業運転資金」の充当済金額を 370 百万円から 424 百万円に、全使途の充当済合計金額を 690 百万円から 744 百万円に、それぞれ訂正を行うものであります。

また、第 9 回新株予約権の資金使途変更を別途行います。詳細は下記「2. 第 9 回新株予約権の資金使途の変更について」をご参照下さい。

(2) 訂正の内容

訂正箇所は網かけを付しております。

なお、本項目における「資金使途変更」は、平成27年5月27日付で行った資金使途変更を意味します。

【訂正箇所】

2. 資金使途変更の内容

【訂正前】

(ご参考：第9回新株予約権に関する資金の充当状況)

	具体的な使途	調達金額 (注4)	充当金額	充当時期
第9回 新株 予約権 の行使	事業運転資金 (370 百万円) ・ 人件費及び経費 (370 百万円) 海外投資資金 (112 百万円) ・ アジア・中国・大洋州における M&A およ び不動産開発プロジェクトへの投資 (112 百 万円) (注1) 国内投融資資金 (208 百万円) ・ M&A および不動産開発プロジェクトへの 投融資 (198 百万円) (注2) ・ 小売業への投融資 (10 百万円) (注3)	1,190 百万円	690 百万円	平成24年2月 ～ 平成27年3月

(注1) 内訳は下記の通りです。

- ・ 天安陽光広場プロジェクト関連支出 (46 百万円)
- ・ 豪州投資案件関連支出 (66 百万円)

(注2) 内訳は下記の通りです。

- ・ 国内不動産への投資 (161 百万円)
- ・ 医療法人投資案件関連支出 (6 百万円)
- ・ 子会社株式追加取得 (31 百万円)

(注3) 内訳は下記の通りです。

- ・ ワイン事業関連支出 (10 百万円)

(注4) 調達金額は手取概算額です。

【訂正後】

(ご参考：第9回新株予約権に関する資金の充当状況)

	具体的な使途	調達金額 (注4)	充当金額	充当時期
第9回 新株 予約権 の行使	事業運転資金 (424 百万円) ・ 人件費及び経費 (424 百万円) 海外投資資金 (112 百万円) ・ アジア・中国・大洋州における M&A およ び不動産開発プロジェクトへの投資 (112 百 万円) (注1) 国内投融資資金 (208 百万円) ・ M&A および不動産開発プロジェクトへの 投融資 (198 百万円) (注2) ・ 小売業への投融資 (10 百万円) (注3)	1,190 百万円	744 百万円	平成24年2月 ～ 平成27年3月

(注1) ～ (注4) 同上

## 2. 第9回新株予約権の資金使途の変更について

### (1) 変更前

変更前の資金使途は下記の通りです。変更箇所は下線を付しております。

(変更前) (平成27年5月27日付で変更を行った後の内容)

	具体的な使途	調達予定金額	支出予定時期
第9回 新株 予約権 の行使	<u>事業運転資金 (370 百万円)</u> ・ <u>人件費及び経費 (370 百万円)</u> <u>海外投資資金 (612 百万円)</u> ・ アジア・中国・大洋州における M&A および不動産開発 プロジェクトへの投資 <u>(612 百万円)</u> 国内投融資資金 (208 百万円) ・ M&A および不動産開発プロジェクトへの投融資 (198 百万円) ・ 小売業への投資 (10 百万円)	1,200 百万円 (1,190 百万円)	平成24年2月 ～ 平成27年12月

(注) 上表中、調達予定金額のカッコ内は、手取概算額です。

### (2) 資金の充当状況および資金使途変更の理由

#### ① 事業運転資金

当初の予定額は370百万円でありましたが、当該金額を54百万円上回る424百万円を充当していたため、充当状況に応じて予定額を424百万円に変更いたします。

#### ② 海外投資資金

当初の予定額は612百万円でありましたが、54百万円が事業運転資金に充当されていたため、558百万円に変更いたします。MHC株式取得代金446百万円を含む558百万円が全額充当済みであります。

#### ③ 国内投融資資金

当初の予定額208百万円が全額充当済みであります。

### (3) 変更後の資金使途

以上の結果、変更後の資金使途は下記のようになります。変更箇所は下線を付しております。

(変更後)

	具体的な使途	調達予定金額	支出予定時期
第9回 新株 予約権 の行使	<u>事業運転資金 (424 百万円)</u> ・ <u>人件費及び経費 (424 百万円)</u> <u>海外投資資金 (558 百万円)</u> ・ アジア・中国・大洋州における M&A および不動産開発 プロジェクトへの投資 <u>(558 百万円)</u> 国内投融資資金 (208 百万円) ・ M&A および不動産開発プロジェクトへの投融資 (198 百万円) ・ 小売業への投資 (10 百万円)	1,200 百万円 (1,190 百万円)	平成24年2月 ～ 平成27年12月

(注) 上表中、調達予定金額のカッコ内は、手取概算額です。

以 上